

# ともに歩む、よりよい学校づくりに向けて ～学校評価アンケート結果のご報告～

日頃より本校の教育活動について多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、先日は学校評価アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。皆様からお寄せいただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の学校教育活動に生かしてまいります。

【表の見方】 対象：生徒、保護者、教師

回答方法：5段階評価 (・当てはまる・少し当てはまる・あまり当てはまらない)

・当てはまらない・わからない)

数値：肯定的な回答（「当てはまる」「少し当てはまる」）の合計割合（%）

内容		生徒	保護者	教師
1 生徒が、自分自身を認めながら充実した学校生活を送ること	91%	87%	100%	学校教育目標
2 生徒が、自分にできることを行い、学校生活や家庭生活で他の人の役に立とうとすること	88%	90%	100%	
3 生徒が、学校行事や授業など何事にも進んで取り組むこと（主体性）	87%	78%	98%	
4 生徒が、お互いに認め合い、励まし合い、高め合うこと（協働性）	93%	85%	100%	
5 生徒が、「凡事徹底」「自己への挑戦」「他人の貢献」に繋がる学校生活を送ること（西南中含意言葉）	89%	74%	99%	
6 生徒が、自他を大切にし、人権を尊重しようとできること	96%	92%	98%	
7 生徒が挨拶や決まりを守って生活しようとしていること	96%	88%	97%	
8 生徒がいじめや差別を許さない行動を行なうことができていること	94%	92%	98%	
9 生徒が主体となった学力を伸ばすための授業を取り組むこと	91%	76%	92%	学校生活全般
10 生徒が中学生らしい服装や身なりをすること	97%	97%	100%	
11 生徒が、安全な登下校や学校生活ができること	98%	98%	97%	
12 生徒が、家庭や地域で挨拶ができること	96%	88%	83%	
13 生徒に、家庭学習の習慣が身に付いていること	78%	63%	77%	
14 生徒が、将来の夢について話ができること	66%	66%	86%	
15 生徒に「自分で朝起きる、朝食を食べる、自分で勉強する」を意識した指導を行うこと	—	—	マイプロジェクト	
16 生徒が、朝自分で起きること	81%	62%		
17 生徒が、朝食を食べること	95%	94%		
18 生徒が、言われなくても自分で学習を始められること	78%	64%		
19 生徒に「返事をする、手伝いをする、家庭で話をする」を意識した指導を行うこと	—	—	ホーリプロジェクト	
20 生徒が、しっかりと返事をできること	90%	83%		
21 生徒が、家の手伝いを行うこと	85%	76%		
22 生徒が、家庭で学校や友達について話すこと	89%	88%		
23 学校が、保護者への連絡や情報提供を行い、信頼関係づくりを行うこと	—	84%	97%	その他
24 生徒が、夜10時以降のスマートフォンの使用を控えること	64%	69%	—	
25 それぞれが、生徒会活動やPTA活動に積極的に参加すること	63%	45%	68%	
26 生徒が、この学校に通えて良かったと感じられていること	92%	84%	100%	

## 自由記述内容より

○教師のあたたかい心配りや、生徒一人ひとりへの丁寧な対応に、多くの感謝の声が寄せられた。  
○級友や部活動の仲間に恵まれ、充実した学校生活を送ることができているという評価をいただい  
た。

- 生徒・保護者の信頼に足りうる、教師の言葉や行動の配慮が求められる。
- 生徒や保護者の視点に立った誠実な対話を重ね、安心感と信頼感につながる適切な指導を心がけ  
ていくことが求められる。
- いじめや安全面の課題については、引き続き学校で迅速に対応していく必要がある。
- 施設の衛生管理やICT活用の工夫、部活動指導など、適切な配慮を求める声が寄せられた。

## 「情報モラル教育の実施」— SNSとの向き合い方について—

昨今、SNS上で暴力的な動画が拡散されるなど、インターネット利用を巡る極めて憂慮すべき事態  
が社会問題となっています。本校ではこうした現状を受け、全校生徒を対象に緊急の情報モラル教育  
を今週から来週にかけて、学年ごとに実施しています。

生徒指導主事からの話と文部科学省の映像資料を活用し、「軽はずみなSNSへの投稿」が一生消  
えないデジタルタトゥーとなって自分を苦しめる怖さや、「その情報、広めて大丈夫? SNS拡散編」を  
通して不用意な拡散が加害行為につながる危険性について具体的に学びました。

ネットトラブルの多くは学校外の時間帯に発生しています。

合志市では、PTA協議会の申し合わせで「夜10時から朝6時まではスマートフォンを親が預かる」と  
いう取組を行っています。この機会に、ご家庭でも、再度SNSとの向き合い方について話し合って  
いただければ幸いです。



西合志南中学校  
学校通信  
令和8年2月18日  
第10号  
発行責任者  
大山 寛  
アクスト さくら

## アンケート結果より

○生徒、保護者、教師ともに肯定的な回答の項目が多く、学校教育活動全体に対しては概ね理  
解をいただいている状況である。

●教師、生徒、保護者間で学校教育目標やマイ  
プロジェクト等の捉え方に差があり、それを  
埋めていくための取組が必要である。

学校HPには  
QRコードを  
クリックでア  
クセス！

